

kWhモニタリング（対象期間:6/29～8/15）の結果

- 今後、平年並で需要が推移すると、kWh余力は7月3日に最小となる見込み。その値は **14,431百万kWh** であり、これは、対象期間の平均電力消費量の**約6日分**に相当。
- 厳気象ベースで需要が推移すると、kWh余力は、8月12日に**11,842百万kWh**となる見込み。これは、対象期間の平均電力消費量の**約5日分**に相当。
- 現時点で燃料在庫の観点からはひっ迫の恐れはないが、需要の増加や、原発・石炭発電等のベースロード電源の計画外停止によって、本モニタリングで対象とするLNGや石油の燃料消費が増加するなど、状況が変化する可能性があり、今後も注視していく。

※ 仮に100万kWの電源停止が60日継続すると、60日後に1,440百万kWhのkWh余力を押し下げることになる。

